

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

そだちネットワーク部会 第3回

開催日時 2022年11月7日(月)

15:30~16:40

参加者所属機関名等 飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・飯山学園・未来工房つむぎ・事務局(北信圏域総合相談支援センター)

本日のテーマ、課題等

(1) 全体共有 (2) 各WG活動

※オンライン開催

会議内容

(1) 全体共有

- ① 飯山養護学校特別支援教育連携協議会について：第2回 11/21(月) 15:20~
- ② 発達障がい診療関係者研修会について：11/24(火) 18:00~20:00
- ③ 自立支援協議会より
- ④ 発達障害フォーラム委員会より
- ⑤ 3WG「関係機関のネットワーク相談マップ」について

(2) 各ワーキンググループ活動：

●1G子どもの支援ワーキング・3Gネットワーク充実ワーキング (1G・3G合同)

各市町村の取組を別紙のようにとりまとめ、互いに聞きたいことや、他の取組から見えてくることについて話し合うために、前回に引き続き「子どもの支援WG」と「ネットワーク充実WG」合同で協議した。

※別紙資料「各市町村の取組(令和3年度)」をもとに各市町村から発表。その後質疑

(1) 前回の振り返り

- ・飯山市より前回分(保育園訪問・教育相談)の説明

(2) 児童館・児童クラブ・学童への支援について

①山ノ内町

- ・保護者と指導員、学校との情報共有を大切にしたい。
- ・支援員に困り感がある。そこへの支援も必要になる。

②中野市

- ・児童クラブ相談支援事業を実施している。
- ・小規模の児童クラブでは、提案に対し統一して取り組むことができる。効果が表れることで、継続していける。
- ・大規模の児童クラブではやり方などを統一して取り組むことが困難。混乱や不安を感じるようになってしまい、形から入る支援の難しさがある。

③飯山市

- ・全児童館職員との懇談を開催。子どもの姿の共有、新年度に向けて連絡を取り合う。
- ・社協に委託して運営。早めに情報共有し、利用希望が実現できるように努めている。○障がい児に対応するときに、特性の理解や個々の状況に応じた支援の在り方など、どうかかわるのかのベースができていないのが課題。

(3) 保育所等訪問支援について

①山ノ内町

- ・具体的な支援方法の提案やスモールステップで成長の確認ができ、保育士の助けになっている。
- ・終了時期、小学校入学に向けての引継ぎ時に情報を生活に伝えていくことが課題。

②飯山市

- ・事業がスタートして、支援を受けている。効果・成果を実感している。

○卒園で終了とし、教育相談につなげていく。

○小学校での利用も可。何を目的とした訪問支援かを明確にしておくことが必要。

○飯山養護学校が地域の要として、教育相談では丁寧に対応していただき指導助言をいただけてありがたい

(4) 意見・感想

- ・規模や状況に応じた対応をしていることが理解できた。
- ・情報がないと児童クラブや児童会で対応するのはとても大変。保護者からある程度は伝えてもらったほうがよい。

●2G 家族の支援ワーキング

(1) 一覧表を見ての気づき、活用の方法

- ・制度を一覧表にしたことで、市町村で同じような事業や独自の事業の有無がわかりやすい等の感想があった。
- ・一覧表の今後の活かし方・活用方法としては、各市町村内で、係や他部署と共有していきたいとの意見があった（どの範囲の部署と共有するか、そのための資料は、各市町村の使いやすいものにする）。
- ・この表を使いながら事例検討を行うことで、支援者のスキルアップを図ることも必要

(2) 次回の検討課題

- ・必要な情報を、漏れなく適切に家庭に届け生かしてもらうために、周囲の支援者にはどの程度の知識が必要で、どのように動けばよいのか（他部署と連携等）を整理する。
家庭への説明のためにツールを使うとすれば、どのような形態がよいか検討
- ・今回作成した表をもとに、各市町村内で、情報共有してみても感想や気づきの共有

今後に向けて

- 次回も、1・3G は合同で実施予定